

令和6年度北区立としま若葉小学校 学校評価アンケート集計

令和7年 2月 3日

としま若葉小学校
校長 久慈良智

1 自己評価の結果と分析

■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない □ わからない

評価項目	結果	分析
＜学校の教育目標や方針について＞ ① 学校の教育目標や方針を分かりやすく伝えている。		保護者の肯定的評価は、91%（前年比△9%）。学校評議員の肯定的な評価は100%であった。「学校の教育目標や方針」について、保護者会や学校だよりなどの周知が浸透していると考える。
＜学習について＞ ② 分かりやすく、意欲をもって取り組めるような授業を工夫している。		保護者の肯定的評価は、92%（前年比△6%）で、学校評議員は100%であった。校内研究の成果が、各種学力調査などの結果に少しずつ表れてきている。
③ 少人数指導（3～6年）など、子供の習熟度に応じた授業を工夫している。		保護者の肯定的評価が、95%（前年比△15%）。取組の様子を学校公開日に公開できたことによる効果と考えられる。学校評議員の「わからない」が25%であるため、取組状況伝えていく必要がある。
＜健全育成について＞ ④ 児童は、挨拶や言葉遣いなど基本的な生活習慣が身に付いている。		保護者の肯定的評価が、79%（前年比△11%）と大きく上昇した。評議員の否定的評価は25%あり、挨拶等、定着してきていることの日常化を図っていきたい。
⑤ 児童は、集団生活のきまりやルールを守って生活している。		保護者の肯定的評価は87%（前年比20%）と大きく上昇している。生活指導部を中心とした取り組みが実を結び出している。
⑥ 道徳や人権教育など、心の教育に取り組んでいる。		保護者の否定的評価は3%で、前年より改善された（▼14%）。自他の生命を大切にするための指導を全ての教育活動において継続して行う。
⑦ 児童の悩みや保護者の相談に誠実に対応している。		保護者の肯定的評価は94%（前年比△6%）。ふれあいアンケートやHYPER-QUを活用し、問題の早期解決に努めることができた。学校評議員の「わからない」が25%であるため、取組状況を伝えていく。

＜健康・安全について＞ ⑧ 児童の体力向上に努めるとともに、保健指導や食育にも取り組んでいる。	<table><tr><th>対象者</th><th>肯定評価 (%)</th><th>否定評価 (%)</th><th>その他 (%)</th></tr><tr><td>保護者</td><td>46</td><td>40</td><td>14</td></tr><tr><td>学校評議員</td><td>67</td><td>17</td><td>16</td></tr><tr><td>教職員</td><td>58</td><td>42</td><td>0</td></tr></table>	対象者	肯定評価 (%)	否定評価 (%)	その他 (%)	保護者	46	40	14	学校評議員	67	17	16	教職員	58	42	0	保護者の肯定的評価は８６％（前年比△３％）、専門家による体育の指導など充実した体育的活動を実施した。保健指導や食育も実態に応じた充実した取組を行っている。
対象者	肯定評価 (%)	否定評価 (%)	その他 (%)															
保護者	46	40	14															
学校評議員	67	17	16															
教職員	58	42	0															
＜開かれた学校について＞ ⑨ 学校だより・保健だより・給食だよりなどのおたより、および配信メールやホームページ、「まなびポケット」などで、教育活動を分かりやすく伝えている。	<table><tr><th>対象者</th><th>肯定評価 (%)</th><th>否定評価 (%)</th><th>その他 (%)</th></tr><tr><td>保護者</td><td>59</td><td>34</td><td>7</td></tr><tr><td>学校評議員</td><td>75</td><td>25</td><td>0</td></tr><tr><td>教職員</td><td>47</td><td>32</td><td>21</td></tr></table>	対象者	肯定評価 (%)	否定評価 (%)	その他 (%)	保護者	59	34	7	学校評議員	75	25	0	教職員	47	32	21	保護者の肯定的評価は９３％（前年比△４％）、評議員の肯定的評価１００％。各種のおたよりの特長を生かした教育活動の様子についての発信を行うことができています。教員の肯定的評価は２１％あり、新システムを活用した効果的な発信を模索したい。
対象者	肯定評価 (%)	否定評価 (%)	その他 (%)															
保護者	59	34	7															
学校評議員	75	25	0															
教職員	47	32	21															
⑩ 金管バンドを発足し、学校や地域行事等で活動の充実を図っている。	<table><tr><th>対象者</th><th>肯定評価 (%)</th><th>否定評価 (%)</th><th>その他 (%)</th></tr><tr><td>保護者</td><td>47</td><td>40</td><td>13</td></tr><tr><td>学校評議員</td><td>67</td><td>8</td><td>25</td></tr><tr><td>教職員</td><td>68</td><td>32</td><td>0</td></tr></table>	対象者	肯定評価 (%)	否定評価 (%)	その他 (%)	保護者	47	40	13	学校評議員	67	8	25	教職員	68	32	0	保護者の肯定的評価は８７％（前年比△１９％）。金管バンドも発足後２年がたち、認知度が定着してきたと考えられる。学校評議員の「わからない」が１７％であるため、地域行事に積極的に参加していきたい。
対象者	肯定評価 (%)	否定評価 (%)	その他 (%)															
保護者	47	40	13															
学校評議員	67	8	25															
教職員	68	32	0															
⑪ 施設が整備され、校舎内外の清掃も行き届いている。	<table><tr><th>対象者</th><th>肯定評価 (%)</th><th>否定評価 (%)</th><th>その他 (%)</th></tr><tr><td>保護者</td><td>47</td><td>43</td><td>10</td></tr><tr><td>学校評議員</td><td>67</td><td>33</td><td>0</td></tr><tr><td>教職員</td><td>47</td><td>47</td><td>6</td></tr></table>	対象者	肯定評価 (%)	否定評価 (%)	その他 (%)	保護者	47	43	10	学校評議員	67	33	0	教職員	47	47	6	保護者の肯定的評価は９０％（前年比△１２％）。設備の老朽化が見られるものの、用務主事を中心に緑化や美化など環境整備に努めてきた成果が出ている。
対象者	肯定評価 (%)	否定評価 (%)	その他 (%)															
保護者	47	43	10															
学校評議員	67	33	0															
教職員	47	47	6															

2 改善の方策

- ① 年度当初の保護者会・学校だより等で「学校の教育目標や方針」を保護者や地域に分かりやすい形で発信していくことを継続する。
- ② 校内研究「児童の学ぶ意欲を育む授業展開の工夫」での成果を生かした授業づくりに努め、効果検証を行いながら、授業改善に努める。
- ③ 保護者会、学校評議員会、学校だよりなどを活用し、算数習熟度別学習の取組についてのさらなる周知を図る。
- ④ 自分からすすんで挨拶ができるように挨拶の大切さについて発達段階に応じた指導を校長講話や学級活動などで行い、挨拶の日常化を図る。
- ⑤ 学年ブロック毎に朝会を行う等、児童の実態を考慮し、生活指導が浸透しやすくなるように指導形態の工夫を図ってきたことが成果に結びついている。今後も継続する。
- ⑥ 道徳地区公開講座の機会などを活用し、道徳教育の実践を保護者・地域に参観していただき、学校の取組への理解を図る。相手を尊重し、自他の生命を大切にするための指導を全ての教育活動において継続して行う。
- ⑦ 居心地の良い学級風土を醸成し、いじめの予防に努める。SC や外部機関との連携も図りながら相談に対して、組織的な対応に努める。
- ⑧ 体力向上、保健指導、食育の取組について、保護者と共通理解を図ることでより効果的なものとなるよう、各種たより等の発信の仕方を工夫していく。
- ⑨ 新年度からの新システム（配信メール、ホームページ等）を活用し、それぞれの特長を生かして、効果的な情報発信を行う。
- ⑩ 豊島五丁目団地のお祭りなどに参加し、地域の中で金管バンドが活躍する機会を設け、地域の認知度を向上させる。また、地域を活用した学習を計画する。
- ⑪ 老朽化した設備の計画的改修に努めるとともに、児童のきれいに施設を使う思いを高める。